

# 大野小だより

「みんなで作ろう幸せな学校」

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子 令和6年9月2日 第8号

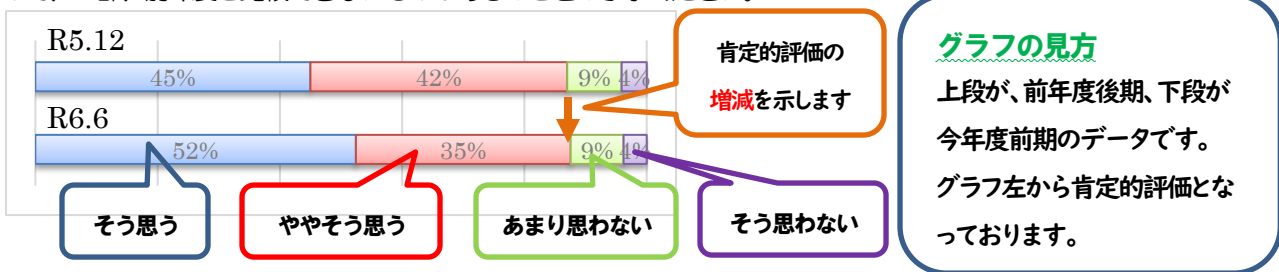
HP QR コード



## 学校評価へのご理解とご協力をありがとうございました。

令和6年度、前期学校評価にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

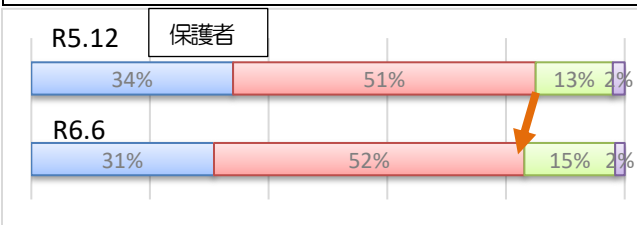
集計結果が整いましたので、ご報告いたします。なお、今年度より、市川市全体で共通する評価項目が変わりましたので、一部、前年度と比較できないものがあることをご了承ください。



### グラフの見方

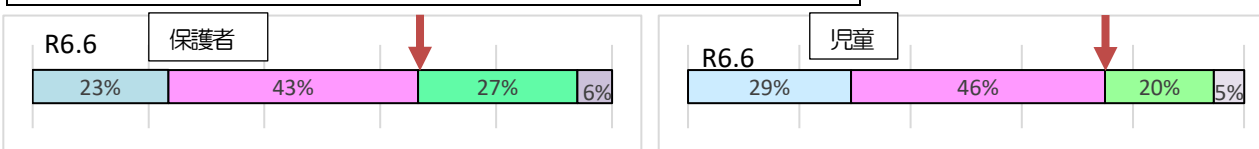
上段が、前年度後期、下段が今年度前期のデータです。グラフ左から肯定的評価となっております。

### 1 お子さんは、学校の勉強がわかりやすいと言っていますか。



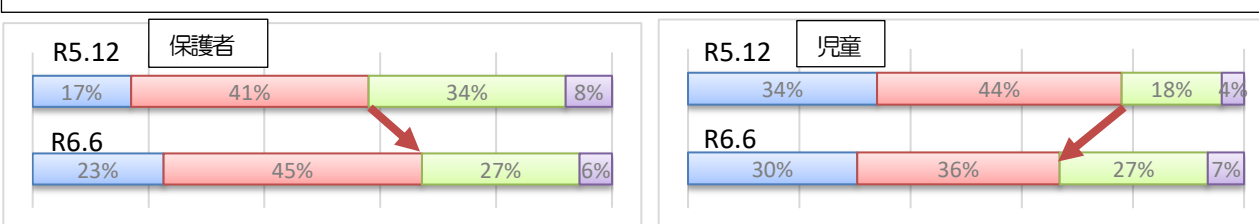
ドリルパーク(AIドリル)を活用し、一人一人の課題に応じた学力の定着を目指しています。併せて、2学期以降、算数科を中心に全学年で少人数指導を実施しきめ細やかな指導と個に応じた支援ができるようにしていきます。また、高学年を中心に教科担任制を取り入れ、質の高い授業ができるようにしていきます。

### 2 お子さんは、目標をもって学習したり、生活したりしていますか。



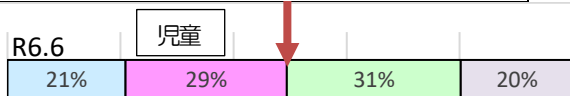
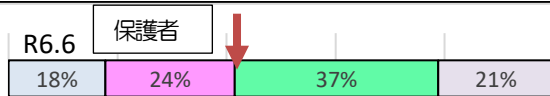
学習においては、子どもたちが課題を発見し、解決までの見通しをもって取り組むことができるようにしています。また、学習内容を適切に評価していくことで、子どもたちの主体的な学びにつながるようにしています。生活においても、毎月、生活目標を立て、手立てを講じ、振り返りをしています。今後も、この取り組みを継続していきます。

### 3 お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味をもって学習に取り組んでいますか。



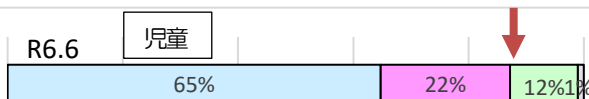
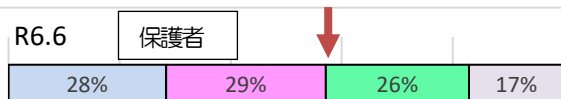
どの教科においても体験や経験を増やすと共に、ICTを効果的に活用して児童の興味・関心を高め、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしています。また、学習や生活の中で失敗を恐れずチャレンジできるような場を意図的・計画的につくり、教師や中間、地域の方々と共に粘り強く取り組むことができるよう支援していきます。

#### 4 お子さんは、日ごろから読書に親しんだり、図書資料を使って調べ物をしたりしていますか。



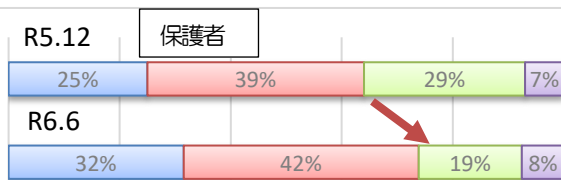
週一回の朝読書の取り組みとおはなしゆうびんさんや図書司書・学級担任による読み聞かせ活動を、今後も継続していきます。また、探究的な学習活動においては、図書司書とも連携し、市川市のネットワーク便を活用して図書資料の充実を図るとともに、積極的な利活用を進めていきます。

#### 5 お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。



ICTセンター校として、「情報活用能力の育成」を研究テーマに、学習や生活の中でICTの利活用を積極的に進めています。2学期以降、1年生に端末の貸与が始まりますので、タブレット操作に慣れていくことはもちろんのこと、一人一人が文房具の一つとしてタブレットを活用することができるよう支援していきます。

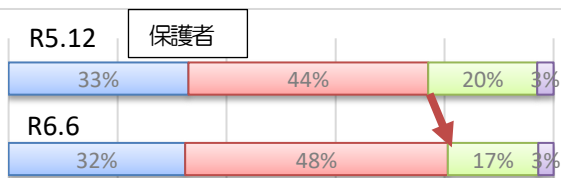
#### 6 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。



ドリルパーク(AIドリル)の導入に伴い、一人一人に応じた学びの支援ができるため、自ら取り組む「学習」へと子どもたちの意識が変容してきたのでしょう。

それ以上に、ご家庭でのきめ細やかなサポートが、家庭学習の定着につながったのだと感謝しております。ありがとうございます。

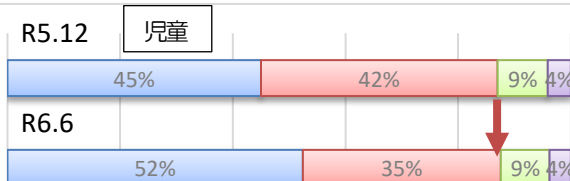
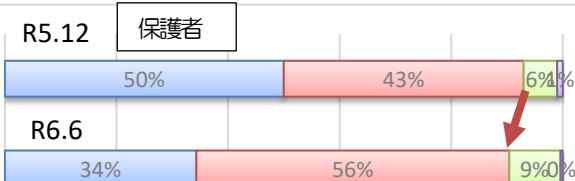
#### 7 お子さんは、気持ちの良い挨拶をしていますか。



昨年度3年生(現4年生)が、総合的な学習の時間に、大野を挨拶いっぱい街にしようと、全校児童や保護者の皆様、地域に呼び掛けたり、「Greeting Smile Street」と道路に名前を付けたりしました。登校時間帯には、子どもたちや保護者の皆様はもちろんのこと、中学生やお年寄り、小さいお子さんも挨拶をしてください。

ブロック共通の取り組みの一つでもありますので、肯定的評価が100%となるようにします。

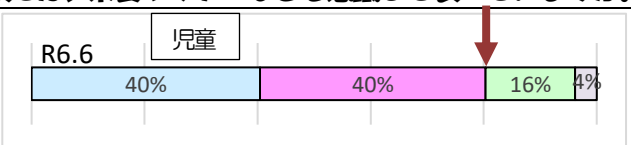
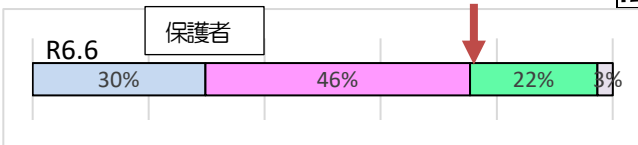
#### 8 お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係作りができていますか。



昨年度の、「誰とでも仲良くすることができますか。」という項目と比較しています。だてわり活動はもちろんのこと、学級会活動や委員会・クラブ活動、体験活動や探究的な学びの場面で、多様な人々と協働していくことで培われたものと考えます。「みんなでつくろう幸せな学校」を目指し、互いを認め合うあたたかい風土を、これからも醸成していきます。

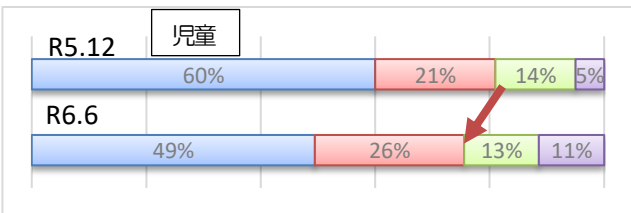
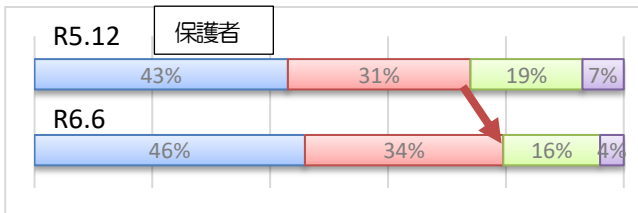
## 9 お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。

給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。



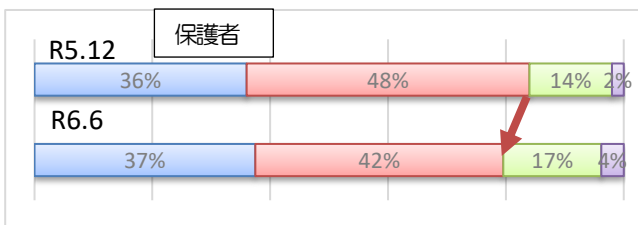
低学年を中心とした野菜の皮むき体験、行事食や郷土料理を取り入れたメニュー、配膳の仕方や食育指導等、栄養士が給食を通して積極的に児童とかがかわっています。子どもたちの健やかな成長のためにも、引き続き、ご家庭と協力して進めていきたいと思ひます。

## 10 お子さんは、外で遊ぶなど進んで体を動かしていますか。



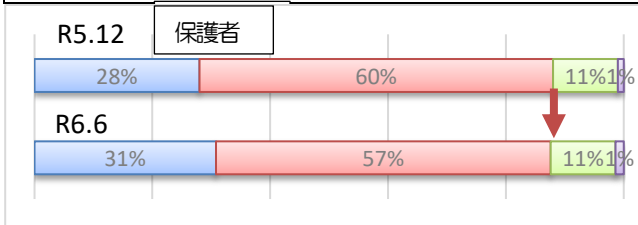
学校では、天候等により外に出ることができない日も多かったように思ひます。中学年を中心に鉄棒やマットなどの器械運動、陸上運動に継続的に取り組むことができるよう場を設定したところ、参加する児童が増えました。今後も、外遊びの奨励と運動に親しむ機会を増やしていきまひます。

## 11 お子さんは、早寝早起きなど、望ましい生活習慣が身についていますか。



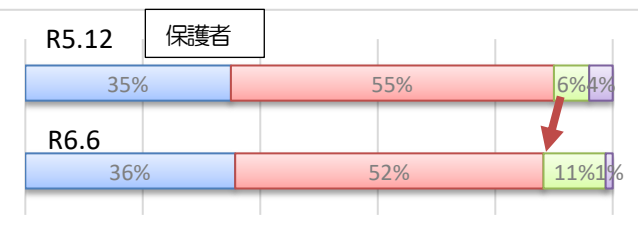
5%減です。望ましい生活習慣の習得は、子どもたちの心と体を整え、小児生活習慣病の予防と健やかな成長に欠かせません。学校では、9月に3年生以上を対象に学校保健講演会を行う予定です。併せて、教科や特別活動の中で、繰り返し指導をしていきまひます。

## 12 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めていると思ひますか。

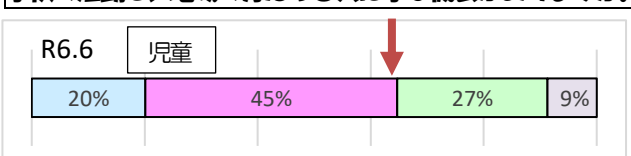


引き続き、学校だよりやホームページ等で伝えるなど、ご理解いただけるよう努めてまいります。なお、学校運営方針等に関するご意見やご不明な点につきましては、校長までご連絡いただけたらと思ひます。また、家庭や地域の代表者が参集して行う学校運営協議会(11/9、2/18いずれも9時から)も、傍聴することができます。

## 13 学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思ひますか。

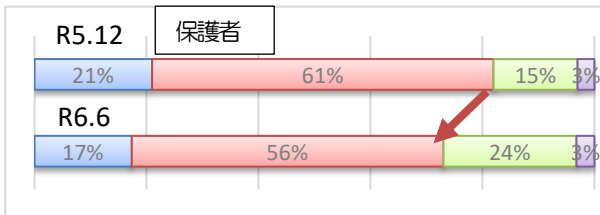


学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。



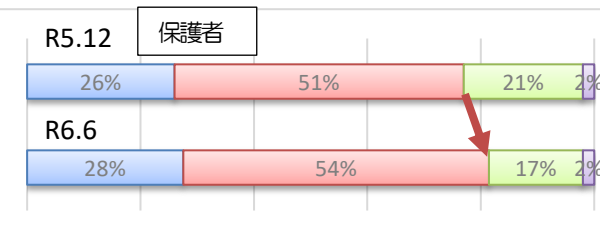
2学期以降も全学年において、地域や外部団体の教育力を活用した学習を進めていきまひます。また、保護者ボランティアの活用を積極的に進めるなど、家庭・地域と連携して大野っ子を育てていきまひます。

#### 14 学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。



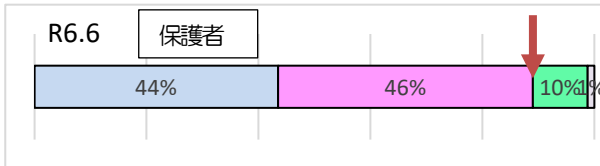
9%減です。7月からスクールサポーターを一人増員しました。2学期以降、全学年で算数科を中心に少人数指導を実施、ドリルパーク(AIドリル)も活用し個に応じた指導を行います。また、月一回の支援会議では、教職員と学習サポーターの情報共有をさらに密に行い、一人一人のニーズに対応した適切な支援ができるようにしていきます。

#### 15 学校は、特色ある取り組みや教育を進めていると思いますか。



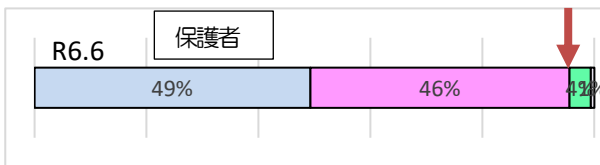
GIGAスクールセンター校として、児童の学びにつながるICTの効果的な利活用について研究していること、また、保護者の皆様や地域の教育力を活用し、本物に触れることで、興味・関心を持って主体的に学ぶ姿勢を育てることが、本校の特色ある取り組みと考えます。今後も本物に触れる機会を多くし、見聞を広めるだけでなく、Society5.0の時代に生きる子どもたちの育成に努めてまいります。

#### 16 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。



保護者の皆様や地域の教育力を活用し、体験や経験を通して、生活の中に課題を見出す探究的な学習スタイルが身につくよう努めています。また、体験や経験を通して、多くの人と出会い、多面的なものの見方や考え方ができるようにしていくことで、多様性社会を生きる子どもたちを育てていきます。

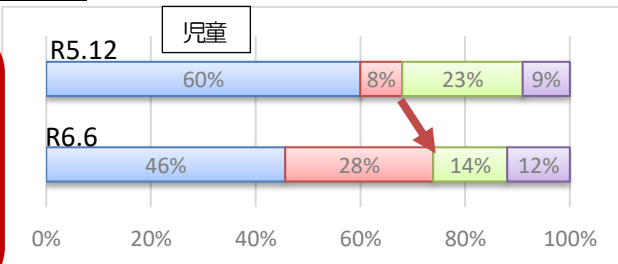
#### 17 学校は、学校だよりやHP、メール配信等で情報提供を行っていると思いますか。



今後も、必要な情報を早く正確に伝えることができるよう努力いたします。また、学校の取り組みや児童の様子について、メールやHPの閲覧数が伸びるよう工夫していきます。

#### 18 困ったことがあった時に、相談できる先生がいますか。

6%増です。「みんなでつくろう幸せな学校」を目指し、大野小すべての子どもたちを教職員全体で見守り育てていこうと、一人一人が子どもたちとのかかわりを大切にしているところです。効果的な教育活動の推進のためにも子どもたちとの信頼関係はもちろんのこと、支えてくださる保護者の皆様との信頼関係を構築できるよう、全教職員で努力していきます。



以上、令和6年度前期学校評価の集計と令和5年度後期との比較、さらに分析と今後の取り組みについて記載いたしました。なお、個に応じた学力の定着を目指して使っているドリルパーク(AIドリル)は、主要5教科あり、主に家庭学習や自主学習で活用しています。一人一人の進捗や課題を担当が把握することができ、授業や個に応じた支援に役立っています。また、学校評価につきましては、学年や学級ごとにも集計し、課題や課題解決のための手立てについて考え、2学期に臨んでいます。今年度は自由記述欄を設けませんでしたので、学校運営に関するご意見等ございましたら、校長まで(338-3000)お願いいたします。今後も、保護者の皆様や地域の方々と連携し、子どもたちの健やかな成長と「みんなでつくろう幸せな学校」の実現をめざし、邁進していきます。